

## 課題克服への思いを共有して



2月3日（月）に、第5回学校運営協議会を開催しました。  
時代はAIに代表される「知能革命」を迎え、教育も「何ができるようになるか」という資質・能力を明確にしながら、「何を教えるか」から子どもたちの視点に立って「何を学ぶか」に舵取りされ、子どもたちには、自ら課題を見つけて学び、自ら考え判断して行動する力が求められます。よって学校運営方針は、学校の教育目標達成のために実効性のある内容が重要となります。

	【和寒小学校】	【和寒中学校】
重点	自ら進んで学び、さらに高め合う子	自ら考え、見通しをもって行動する生徒の育成
㊦	わかる授業・子どもたち主体の授業改善をします そのために →ねらいを児童と共有（構想シートの活用）する。 →行間の時間を活用した個別指導（スーパーちよこっとり） →学習規律の検証・改善を進める。	わかる授業で確かな学力をつけます そのために →学習規律や課題の提示と振り返りを徹底する。 →家庭と連携し家庭学習の習慣化を図る。 →個別学習（チョコ勉）の実施。
㊧	つながりを大切にします そのために →地域とのつながりをより深める。 →中学校との授業交流（教育課程、分掌のつながり）を強化する。	
㊨	ともに豊かな心を育てます そのために →小中連携の取組の推進（リングル収集） →児童の特性を把握するためにQU調査を実施。	
㊩	さわやかな学校づくりをします そのために →環境整備に努める。 →職員の打合せ数を軽減し、子どもと向き合う時間を確保する（休み時間一緒に遊ぶ）。	
㊪	むずかしいことに挑戦する態度を育てます そのために →夢や目標を持ち、努力する態度を育てるために「きみの未来サポート」を充実する。	
		そのために →キャリア教育の視点で、夢や目標を持たせる指導に努める。

今や学校は、”チーム”です。ややもすると、時間も労力も少なく効率的な面を優先するあまり特定の職員に任せ、頼りがちになります。しかし両校は、一人ひとりの力を信じて結集し、何倍もの力を発揮していくチーム力を最優先に教育活動を展開しています。ですから、上記方針は、それぞれの職員に浸透され共通理解・共通実践され大きな成果を生んでいくものと期待しています。

そこで大きな関わりを持ってくるのが、地域とともにある学校づくりを進める「学校運営協議会」の存在です。学校は、様々な課題を抱えその解決に向けて取り組んでいます。学校運営協議会で大事にしていることは、「双方向の関係の構築」です。三者（学校・家庭・地域）が双方向に連携・協働し、地域の子どもたちを共に育てていくということです。そのために、地域の学校がどういふ子どもを育てようとしているのかを理解することは極めて重要なことです。その上で、地域から学校、学校から地域・家庭、学校と地域・家庭がともに協働するということが大事になります。今年の大きな成果は、地域の子どもは地域で守るために「こども110番の家」のステッカーを各戸に添付していただいたことです。これからも、地域の子どもたちのために学校を支援していきたいと考えています。